

「古くて新しい学習心理学の現在」

兎田 幸治先生

慶應義塾大学 文学部

人文社会学科 心理学専攻 准教授

2025年1月31日（金）17:00-18:30

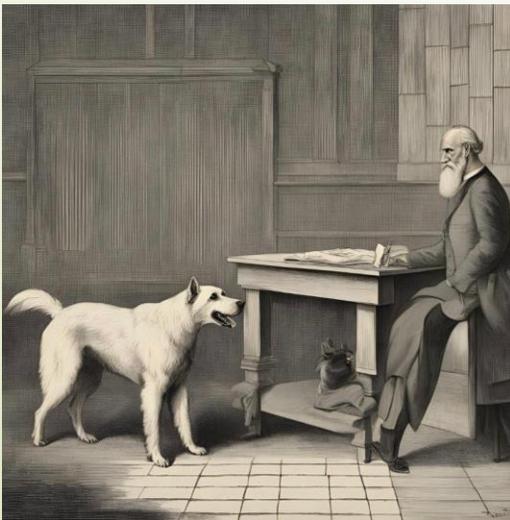
杉谷キャンパス講義実習棟 203号室

兎田先生は、長い歴史のある実験心理学、特に学習・条件付けの行動課題と最先端の神経生物学的計測・操作技術を組み合わせることによって、**私たちヒトを含めた動物の行動基盤となる心理学的・神経生物学的な構造と、その進化について主にマウス・ラットを対象として、明らかにしようとしています。**このセミナーでは、そうした研究の最新の知見についてお話しいたします。

<参考文献>

1. Yamada and Toda, Habit formation viewed as structural change in the behavioral network. *Communications Biology* 6:303, 2023
2. Yamada and Toda, Pupillary dynamics of mice performing a Pavlovian delay conditioning task reflect reward-predictive signals. *Frontiers in Systems Neuroscience* 16:1045764,2022

連絡先：西丸（医学部システム情動科学講座）
nishimar@med.u-toyama.ac.jp



兎田先生の
Researchmap↓

